



佐賀大学理工学部同窓会主催

理工学部スタートアップセミナーのご案内

佐賀大学理工学部同窓会では佐賀大学理工学部新生を対象に、平成26年度 理工学部スタートアップセミナーを下記の要領で実施いたします。

大学入学後、「大学で何をどのように学ぶのか」「卒業後どのような仕事をしたいのか」という将来の自分へのキャリアデザインについてほとんど考えることもなく学生生活を終えている学生が目立っています。そこで理工学部同窓会では、キャリアデザインの基礎となる批判的思考（クリティカルシンキング）と論理的記述（ロジカルライティング）の力を身につけ「主体的な学びの姿勢を身につけ」「自分の可能性を広げ」「自分のキャリアについて考える」きっかけをつくって欲しいと思い、このセミナーを企画しました。みなさんの参加を期待しています。

記

テーマ「キャリアデザインの基礎となる批判的思考と論理的記述」

期 間：平成26年3月31日(月)～4月2日(水) 9時～17時

場 所：菱の実会館多目的室

募集定員：40名 ※受講希望者多数の場合は抽選になります

受講料：無料 ※但し、テキスト代1,800円が別途必要です。

講 師：株式会社 ベネッセコーポレーション 大学事業部

以上



理工学部同窓会
会長

秋永 正幸

理工学部同窓会会長のメッセージ

新生の皆さん理工学部への入学おめでとうございます。これから始まる学生生活に期待をされている事と思います。自分の夢を叶える為、目標をもって入学されていると思いますが、中には将来どんな仕事をしたいか決めかねている人、まだ決めていない人が居られると思います。その様な人の為に同窓会として何か出来ないかと考えて企画したのが昨年から始めましたこのスタートアップセミナーです。このセミナーを受講されて大学での学びとは何か、文章のまとめ方から表現力、コミュニケーション能力を初め思考力、伝達力を身につける為にはなにか必要かを学んで欲しいのです。そして大学での四年間で将来の目標を決めるとともに社会に貢献できる能力を身に付けてください。

皆様の受講をお待ち致しております。



理工学部
学部長
石橋 孝治

理工学部学部長のメッセージ

入学おめでとうございます。様々な夢を抱いて入学されたことと思います。さて、大学に進学すると言うことは“自分が望む能力を伸ばす”ことです。皆様が佐賀大学理工学部でこれを実現する選択されたことを非常に喜ばしく光栄に思います。皆様の夢の実現に向けた能力伸展活動をしっかりと支援いたします。

大学では、知識の領域の中から夢の実現に向けて必要な本質的知識を習得することになりますが、知るための方法としての講義（座学）と実験、実習（スキル）が基本として用意されています。大学ではアクティブラーニングの 카테고리であるグループワークやフィールドワークを通じて自分の意見を述べ、討論する新たな授業形態の導入が進んでいます。新しい学びの方法を通じてクリティカルシンキングや異なる意見をまとめるリーダーシップのスキルを身に付けてゆくことになります。

自律した学習者として学生生活を始めるにあたって、理工学部同窓会は新入生のための理工学部スタートアップセミナーを開設しています。3日間のセミナーです。学びの入学前研修として皆様のご参加を期待しております。

■平成25年度 スタートアップセミナーの報告

期 間：[前半] 平成25年 4月13日(土)、14日(日)

[後半] 平成25年 4月27日(土)、28日(日)

講 師：株式会社 ベネッセコーポレーション 大学事業部

実施内容：

前 半	1 日目	4 月13日(土)	午前	開会式／アイスブレイク
			午後	クリティカルシンキング(1)
	2 日目	4 月14日(日)	午前	クリティカルシンキング(2)
			午後	クリティカルシンキング(3)
後 半	3 日目	4 月27日(土)	午前	ロジカルライティング(1)
			午後	ロジカルライティング(2)
	4 日目	4 月28日(日)	午前	ロジカルライティング(3)
			午後	グループ別発表会 修了式

1日目の午前中は受講者同士だけでなくセミナーに協力している在学生や同窓会役員とのコミュニケーションをとる時間としました。1日目の午後の講義に入る前に、グループワークの際に全員が何らかの役割に参加できるように受講者を少人数のグループに分けました。その後、講義やグルー



ブワークを経て4日目は与えられたテーマについてグループで議論し、プレゼンテーションを行いました。

1日目の受講生は、初対面の人ばかりで緊張していたせいとかほとんど自分から話しかけることはなく、話しても長く続かない状態でした。しかし、懇親会や先輩との話を通して親密になるにつれ、セミナーでの議論だけでなく休憩時間での会話も含め、受講生同士のコミュニケーションも活発になりました。



受講生に対してこのセミナーについてのアンケートを実施しました。セミナー受講前後の個人の変化についての設問には「高校までの学び方と大学での学び方の違いがイメージできた」、「学ぶ必要性を感じた」とほとんどの学生が回答しました。また、セミナーの満足度もすべての学生が「満足」と回答しました。今回実施したセミナーは、受講生にとって有益であったと思われます。

平成25年度 理工学部スタートアップセミナー修了生のコメント

修了生 植村

こんにちは！スタートアップセミナー修了生の植村です。このセミナーでは、自分たちが大学や大学院を卒業した後に対面するであろう、就職してからの働き方、つまり、社会人として一人前になるために必要な能力を、簡潔かつ具体的に教えてくれます。たとえば、会社内において必ずあることが、プレゼンの発表です。プレゼンの発表をする上で如何なるプロセスを踏まえてプレゼンを大成し、そして、人前で発表する際にどのようなスタイルで挑めばいいのかなどが、今後必要となって来ます。

このセミナーでは、そういった能力を養うための機会となっているので、ぜひ参加してみてください！また、大学生活での友達を作るような機会もありますので、そういった目的で来てみるのもアリですよ～



修了生 森

新入生の皆さんこんにちは。スタートアップセミナー第一期生の森です。今回このスタートアップセミナーについて自分が参加しておいて良かったと思ったことを一つとして「友達作り」を言いたいと思います。

大学で友達を作る方法は多くありますが、僕が最も仲が良い友達と出会えたのはなったきっかけはこのセミナーだったと思います。このセミナーの特徴はグループを作ってある議題についての発表をするのが主体のセミナーです。一人ひとりが自ら発言をして、自分の考えを相手に伝えるので、誰がどういう人なのか良くわかると思います。今回入学式前にこのセミナーがあると聞いたので、ぜひ皆さんの中で多くの方がこのセミナーを受講し、より良い大学生活を送れる環境がいち早くできることを願っています。



佐賀大学コンテンツデザインコンテストへの協賛報告

佐賀大学は、これまでに培った教育研究を礎にし、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指しています。そういう中で、各専門分野で積み上げられたものをデザイン化して発信することが、今後の佐賀大学と地域社会の重要な使命です。専門分野における中身（コンテンツ）を洗練していくことだけでなく、その過程を理論的にも方法論的にもより良い結果として具現化していくことが求められています。このようなことを背景に、「佐賀大学コンテンツデザインコンテスト」が実施されています。

Web ページ：<http://net.pd.saga-u.ac.jp/scdc/index.html>

Facebook：<https://www.facebook.com/condeconsaga>

このコンテストにおいて、佐賀大学理工学部同窓会は佐賀大学理工学部・大学院工学系研究科に在籍している学生あるいは卒業した同窓生の作品を対象として「菱実会賞」を授与いたしました。平成25年度の第2回佐賀大学コンテンツデザインコンテストでは、佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻の溝上智奈美さんの「緑視率マップ作成ツール」に授与されました。

●作品のコンセプト

近年、市街地及び住宅地では緑のカーテンや屋上緑化等の緑化活動が家庭単位から取り込まれ始めており、このような活動は昨今の省エネルギー意識の高まりと共に、徐々に地方都市にも浸透してきています。

首都圏や大都市の行政を中心に、これらの都市空間に存在する植物や緑化された空間を景観的に、または定量的に評価するために『緑視率』という指標を用いる試みが行われています。この緑視率とは、視野内に占める植物等の緑の割合を表す指標です。

通常、緑視率の算出には複数の煩雑な作業が必要となりますが、本ツールは専門的な知識を必要とせず簡単な操作で緑視率を算出し、地図情報と合わせることで街の緑の分布を可視化できるといった特徴があります。本ツールを行政の方はもちろん、市民の方々にも利用して頂き、これを通して自分の周りの環境へ意識を向けてもらい機会になればと考え制作しました。



●受賞者のコメント



佐賀大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 溝上智奈美

このたびは、第2回コンテンツデザインコンテストにて、菱実会賞をいただきまして、誠にありがとうございます。理工学部の同窓会員として大変光栄に存じます。本ツールは学部の卒業論文から取り組み続けているもので、指導教官を始め先輩や同研究室の仲間の助力があってこそその成果であります。

コンテストはデザイン系の出展がほとんどで、本ツールは専門的に見えるため、賞をいただけるとは思わず、大変驚きました。そんな中でご注目をいただけたのは、住環境への関心の高まりからではないかと感じました。

このたびの受賞を胸に、これからも研究に励み、佐賀大学理工学部同窓会の一員として社会へ貢献できるよう、精一杯努力してまいります。ありがとうございます。